

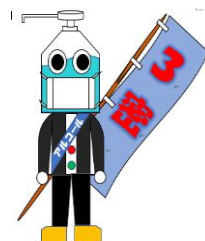
石山中の皆さんへ

2023年12月
大津市立石山中学校
保健室

かけがえのない！

寒暖差は、服装で調節しよう！

温かい日が続いていたと思ったら、急に寒くなったり、日ごとでも1日の中でも寒暖差が大きい時期です。また、空気も乾燥しウイルスが広がりやすい環境で、大津市でもインフルエンザが流行しています。石山中では今のところ広がりは見られませんが、油断はできません。寒暖差には、肌着や脱ぎ着のできるカーディガンやセーター、マフラーや手袋などで調節しましょう。引き続き、睡眠と栄養をしっかりとって免疫力をアップし、手洗いや消毒などで感染症予防を心掛けてください。



いのちの授業

12月7日に、3年生の「いのちの授業」として助産師の山本幸子先生が講演に来てくださいました。裏面に「いのちの大切さ」のメッセージを載せていますのでご覧ください。

私たち一人ひとりの命は奇跡的で、両親、その両親、そのまた両親と代々つながって生まれた命です。助産師さんとして出産のたいへんさを話され、おうちの人に「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えるといいですねという話もされていました。感想も載せますが、みんなも心を揺さぶられたようですね。

私（宮口）も子どもが大好きで、四人子どもがいます。妊娠中は気持ちが悪くなり、出産の痛みも経験しました。また、子育て中はとっても忍耐力が必要でした。でも、出産の痛みは子どもの可愛さですぐ忘れてしまいましたし、子育てをした経験は自分を成長させてくれたと思っています。今は四人とも親になり、私は孫に囲まれてとても幸せです。また年老いた母と過ごしていますが、こんなに大人になった(?)私に、寒いから上着を着るようになど、世話を焼いてくれます。いつまでも母にとっては子どもなんですね。皆さんも自分を大切に、おうちの方や周りの方に感謝を忘れずに、楽しい人生を送ってほしいです！

3年生 「いのちの授業」 感想より

- ・生まれてきたことは、すごい奇跡なことがわかったし、1つ1つの命がかけがえのないものだということがわかりました。また、正しい知識をつけることが大切だと思いました。
- ・お話を聞いて、改めて命の大切さを知ることができました。お母さんがどのように私を生んでくれたのかなども考えて、感謝しようと思いました。
- ・私は命について「重いもの」「大切なもの」とは理解していたのですが、あらためて命とはかけがえのない本当に大切なものなんだと心から感じました。「あなたはあなた。どんなことがあっても自分を大切に」という言葉を聞いて、涙が出そうになりました。母にも感謝を伝えたいと思いました。
- ・初めから最後までお話を聞いて、ずっと泣きそうで涙があふれるのをこらえていました。私たちが生まれてきたのは奇跡で、親が頑張ってくれていたなど聞くと本当に涙が出てきて、親との接し方や人の見方など少し考えさせられました。

命の大切さ

それぞれに大切な人がいる

あなたが居なくなったら悲しむ人がいる

命と引きかえに何が変わるのだろう

命に代わるものは何もない

苦しい時は弱音を吐こう 立ち止まろう

回り道や寄り道も 時にはいいじゃないか

ひとりひとり違っている

だから生きていくのがおもしろい

命の重さを計れたら きっとみんな同じ

ひとり ひとり 命ある限り 生きる

感想 続き

- ・赤ちゃんが生まれるときの話を聞いて、出産の大変さや生まれてくれたことへの喜びの大きさを知ることができました。そして私が生まれた時の話もたくさん聞いてみたいなと思いました。助産師さんの仕事はお母さんと赤ちゃんの両方の命も関わってくるので、とても大変な仕事だけど、その分やりがいもたくさんあることを知ることができました。
- ・今、反抗してばかりだけど、自分を生んでくれたお母さんに感謝したいです。そして、今まで育ててきてくれたことにも「ありがとう」を伝えたいと思いました。正しい知識を身につけて、自分と向き合って生きていきたいと思いました。あらためて生きていることへの喜びを感じることができました。
- ・中学生の私にとって、とてもありがたく考え深い話でした。子どもを産むまでのお話で、私は3人きょうだいなので3回もたいへんな思いをして産んでくれたことに、ありがとうを言いたくなりました。そして流産や、出産での出血で死亡することもあるという話を聞き、今ここにこうして生きていられることを本当に感謝だと思いました。